



# 福東地区の遊歩道

皆さんが住んでいる熊川の、すてきな場所を紹介していくコーナーです。住んでいても、意外と知らない所があるかも？  
今回は、熊川分水に親しむ会の石毛和夫さんにお気に入りの場所を紹介していただきました。



拝島駅の北口を出ると玉川上水にかかるとる平和橋があります。その下流50メートルほどの左岸に殿ヶ谷分水の取水口が残っています。

殿ヶ谷分水は江戸時代中頃の享保5年(1720年)に開削されて宮沢・中里・殿ヶ谷新田(現在の立川市西砂地区、昭島市美堀地区)の開墾に利用されました。

役割を終えた殿ヶ谷分水は埋め立てられ、今は福東地区を貫く遊歩道になっています。

福東公園からリサイクルセンターにかけての遊歩道は、林の中の道が続きます。春は新緑、夏は涼しい木陰、秋は足元の落ち葉、冬は木々の間を吹き抜ける木枯らし、と様々な表情が一年中楽しめます。

歩きながら左右を見れば、素掘りの殿ヶ谷分水の土手の跡が高さ1メートルほど残っている様子も確かめられ、僅かながらも分水の歴史を感じることができる場所です。

(文・写真 石毛和夫)

